平新聞

大祭祝日毎日曜休刊
定價（一枚二錢　壹ヶ月三十、郵税十五錢）
廣告料（雜報三五十錢　所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人　市島絶三
福島縣平町仲町一番地
發行所　平新聞社

銀行合同に就て

本縣銀行問題も去月廿四日第一回合同委員會で縣提出の基礎案を全委員が承認し同案に依て縣下の銀行を福島、郡山、平、會津、白河の五行乃至六行に合同促進につとめる事に決定せるが銀行合同は日本の經濟組織と英國の經濟組織を同一視する誤ぺうより出でたるものでこれを勵行すれば地方の中小商工業者は次第に亡ばされる運命に導かるゝもので我が國に於て銀行の合同を力說するが如きは害ありて寸がうの益ないのである、十五銀行の如きは銀行を合同した模範的大銀行であつたではないか、大銀行必ずしも安全なるものでないのである、むしろ小規模にても基礎の堅實を計り貸出しに於ても大口の貸出しをせず中小商工業者を得意先とする銀行が必要であり且つ最も安全な銀行である而して政府に於ても近來合同を强壓するが如きことなく地方的合同即ち地方の實情に顧み經濟的事情の同一なる地元に於ける銀行の合同せしむるに方針をかへた樣であるが本縣下の普通銀行三十八行を五行乃至六行に合同せしむるは縣當局の理想案にして地方事情に依り困難なるものにして現在縣下の各銀行の内容を調査するときは無理に合同せしめてかへつて合同の爲に不良に落入り預金者に影響する處甚大なれば各銀行は自發的に内容の整理をなし然る上に縣下の銀行を少くも十行以上に合同する事を希望するのである（光村生）

平町の金融狀態

平町所在銀行たる磐城、平磐城實業、磐越の本店銀行及七十七、百七、農工の各支店銀行の最近に於ける預金貸附け狀態を見るに本店銀行三行（支店分を除く）の預金總額は六百廿九萬圓内外貸出金に於て九百七拾五萬圓内外を計上し支店銀行三行の預金總額は貳百八拾四萬圓内外貸出金四百萬圓内外計上する有樣にして三支店の中百七支店が九十萬圓內外の預金に對し十萬圓内外の貸出金にして如何なる銀行の都合なるか金利高なる平地方へ貸出しせず本店勘定となし居るのみにて他の二支店は預金高同樣若しくは其倍額以上を貸出し本店銀行同樣商工業者の便宜を計り好評を受けつゝあり

而して各銀行の内容は如何なる狀態にあるか號を重ねて詳報すべし。

東部電力會社の電燈電力料は自發的に値下せよ

東部電力會社の電燈電力料は他社と比較して高値なる事は需要者として重大問題にして郡山市會にては調査委員會を設け官廳へ上申すべく目下調査中にあり平町に於ても目下某々有力者が協議中であれば値下問題は平町民の弊となり重大化するに至るべし、今參考迄に左記會社の電燈料に就て調査せば左記の如し

東京電燈會社及東京市電氣局並に東京電力會社の神奈川縣下の電燈料左記の如し

▲普通定額供給（月額）

五燭光	四十錢
十燭光	五十錢
十六燭光	五十五錢
廿四燭光	六十五錢
卅二燭光	七十五錢
五十燭光	九十五錢
八十燭光	壹圓三十五錢
百燭光	壹圓五十錢

右は電燈料にして東部電力會社より三割方安値にして電力料に於ても三割以上安値である。

マンドリン
ヴアイオリン
ハーモニカ
各種樂器類
其他屬品一式
菊屋樂器店
平町二丁目角

商港實現に石城町村長起つ

けふ大擧して出縣

政民兩派に陳情

小名濱商港實現の問題は縣會に換議されて地元民は極力その實現を期し既成**同盟會**を組織し八方奔走中であるが、これについて石城郡町村長支會では幹部會を開き協議の結果郡下町村長三十餘名は大擧出縣し伊藤知事並に政民兩派議員に對し**實現促**進陳情をなすことに決定し今五日小發列車で出發す筈である。

磐城鄉友會通常總會

會長副會長は再選に決す

石城郡出身在福者より成る磐城鄉友會通常總會は四日午前十時から市公會堂日本間に於て擧行された、開會に先だち一同記念撮影の後定刻午前十時會長寺澤元良氏の開會の挨拶に次いで惠澤幹事から庶務會計の報告あつて役員改選の結果

△會　長　寺澤元良
△副會長　大原一

兩氏再選次で會長から左記評議員及び幹事十三名の指命あり講演に移り二三會員から學生に對する風紀問題に就て講演あり餘興に入り浪花節、落語、薩摩琵琶等に興をつくし午後三時半散會したか出席者は會員約カ十名招待學生百五十餘名で頗る盛會であつた、評議員及び幹事氏名左の如し

□評議員－近藤節太郎、北川次男、端山軍治、宮内英治、吉田春一、薗部欣哉、宮本捨吉、濱島操、平子留吉
□幹事－田子健吉、高野要三、山守正春、惠澤扨、

濱通銀行合同評議會決定

來る廿日前後開催

平方部銀行合同評議會は來る廿日前後に平銀行主催となり左記銀行を參集し評議會を開催する事に決定せる由

磐城銀行　平銀行　磐城實業銀行　磐越銀行　磐東銀行　四倉銀行　原町銀行　田村實業行

入遠野消防檢閲

石城郡入遠野村消防組秋季檢閲は來る十一日同村小學校庭に於て開催する由

鈴木榮氏當選

石城町村部會副會長に本縣町村長會石城郡支會の副會長大平睦四郎氏退職したので今回選擧の結果小名濱町長鈴木榮氏當選評議員の補缺として植田町長佐川龜太郎好間村長金成淺吉の兩氏に決定した

福島署巡査の異動

福島署では、今期講習所卒業生六名の記屬されたので此れに伴ひ四日左の如く巡査の移動發表した

驛前派出所詰
巡査　木村　照
命鳥川駐在所在勤
鳥川村駐在所勤務
巡査　寺島　健吾
命梁川署在勤
鎌田村派出所勤務
巡査　矢部　實治

不眞目なる平の入營兵

豫備教育に不出席

平町役場では平町在鄉軍人分會の應援を受け一日から三日間平第一小學校に今年度入營兵の豫備教育をなしたが一日當日の教育に依囑されだ山崎會長以下數氏が會場たる平第一校に行つて見ると出席者は二十四名中僅に三名にすぎなかつたため止むなく七日から三日間行ふことに延期した、これについ平町某識者は折角厚意を以て豫備教育を授けやうとするのに大部分が出席しないとは餘りに無誠意である。と語つてゐた。

明日の運勢

十一月十一日（舊十月十七日）
金曜　開
己酉
友引　婁宿

■一白、苦勞して歸れば福は内に來りて待ち居る日ひつじさると丙と壬が吉
■二黑、目上に順服すれば運氣次第に吉となるべし東とひつじさると丙が吉
■三碧、目上の引立はあれど同僚の感情は惡しき日壬と巽と艮が吉
■四綠、有利の日なれども活動過ぐれば却て失敗す西と巽と壬が吉
■五黃、位は高けれども足元は常にぐらつき易き日巽と東と乾が吉
■六白、盛運の如く見えても入る割に出ること多し東と乾とひつじさるが吉
■七赤、外交に勝利ある日但しあせる時は失敗を招く東と乾とみづのえが吉
■八白、内を堅めて外に向へば旭の上る如き勢ありたつみ乾とひつじさるが吉
■九紫、目上の感情を損じ易き日務めて冷靜なるべし西と艮と東が吉

洋服の會議

洋服着用者大會をある役所のテーブルを取まいて開催せられた、會する者數十名先づ註文洋服と既製洋服と何れが經濟であるかを審議した其の内會議員の大半は既製洋服黨**正札黨**であつたので直ぐ既製洋服を着用する事に衆議一決しそして最も勉强な店即ち購買店は平町停車場通り正札堂洋服店と決定したと（廣告）

社告

大野良徳

右者本社員トシテ入社仕候此ノ段謹告候也

昭和二年十二月一日
平新聞社

ナフトール着尺
ニコニコ絣
模樣銘仙
平三丁目
龜田屋
電話五七番

いよ〱寒さは訪れて來た中野呉服店にも冬物が澤山取揃つて安く勉强すると云ふ標語が活動してゐる皆樣よ是非御立寄下さい
㊃ 中野呉服店
平町三丁目
電話六七番

印伴天業　（受賞五回）
草野染工場
平町鎌田町……電話三四八番

銀行會社商工業者内容及人事百般の調査探偵
世界的調査機關
商工界の羅針盤
東京商業興信所
郡山支所
郡山局私書函第二二號
電話一〇五五番
平出張所
平局私書函第六號
支所出張所六十餘ヶ所
全國海外各國調査聯絡

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に一千餘坪の貸地がありますか然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

磐城十二景ミルク
平名物　せんべい
磐城平町停車場通り
清泉堂菓子舖

公立福島病院
電話一六六番・五二八番

科	職	氏名	電話
内科	院長　醫學博士	菅沼清次郎	電話九〇四番
	部長　醫學士	大越貢	電話九〇三番
外科	副院長　醫學博士	矢花是男	電話八七六番
	部長　醫學士	山本順	電話三四一番
產婦人科	部長　醫學士	柴生田鐵策	電話九〇二番
	日本醫學士	吉永隼	
小兒科	部長　醫學士	池田龍一	電話六四七番
眼科	部長　醫學士	前田巽	電話九八番
耳鼻咽喉科	部長　醫學士	山内亭吉	電話九九番
皮膚泌尿科	部長　懇醫學士	吉田豊	電話八八三番
X光線科	兼部長　醫學士	山本順	

貯蓄を兼ねた生命保險
確實　低廉　本邦最高の配當率
第一生命保險相互會社
相互保險開祖東京京橋第一相互館
◆案内書あり乞御申込◆
福島支部
福島市荒町六十二番地
電話五一六番
振替口座仙臺七四〇二番
支部長　久恒重幸

静養の好適地
胃腸婦人病一切の名湯
内湯旅館　富士屋旅館
……（自動車の便あり）……
増築落成仕候御客樣には叮嚀親切を旨とします

静養の好適地
胃腸婦人病一切の名湯
ラヂウム内湯
つたや旅館
支店不動湯（自動車の便あり）

静養の最適地
胃腸病婦人病の名湯
内湯旅館　木村屋
……（自動車の便あり）……

片倉肥料
片倉生命保險
富國火災保險
平町南町
片倉製絲紡績株式會社
取扱所　平出張所

ふしぎによく效く
目藥　神教水
發賣元　平町搔槌小路
魁文堂
電話三一三番

本店　御料理　花月
西洋料理　カフェー　ボタン
平町三丁目
電話四六四番
久田好雄

好間村役場
村長　金成淺治

大字北好間
村會議員　猪狩貞一

上好間
村會議員　鈴木精平

澤子谷
村會議員　高木米吉

大字北好間
村會議員　金成角治

中好間
村會議員　叶多清

果然縣會の問題となつた
小名濱商港修築
正面反對も出來ず民政派は
痛し、痒しの立場

小名濱商港實現は地方民の熱望は勿論縣民も其必要を痛感し、政府は之れを認めだので伊東本縣知事は明年度豫算に計上したので最初から黨派を離れ國家問題として滿場異議なく通導するものと思られて居たが果然縣會の大問題となり知事の豫算總說明に對して質問する議問は何れも之れを口にせざるは無い狀態であつた

腹の判らない
野崎若松兩氏

石城郡民が擧げて小名濱商港實現を希望して居る筈であるが此郡民を代表する野崎滿藏氏若松美三氏は「此問題には絕對贊成である」と云へ乍ら兩氏ハ質問振りより推測すると疑はざるを得ない點が尠くない、百萬圓寄附者淺野氏に對する縣の條件は餘りに縣が不利であると難じて若し有利な條件で寄附する者あらば之れを容れるかと恰かも百萬圓寄附者が他にあるかの如き口吻を漏し、又は商港と大關係を有する磐城炭礦に對して縣は寄附の交涉をしたかと詰め寄り若し磐城炭礦に交涉をすれば易々として之れを引受けたであつたらうと思はして居る、然るに實狀を聞に磐城炭礦は資本金一千萬圓で其十分一の百萬圓の寄附は困難なのみか最近の炭界不況に際して到底出來得ない事情にあり此事に關し前縣會議員で小名濱出身の小野晋平氏は『僕は倉田專務に對して寄附の件を話した處が同氏は會社は商港實現を希望する關係から寄附も考へては居るが資本金の十分一の巨額を投する事は問題である、殊に最近の不況時に於ては困難なるのみならず不可能と云へたいと云つたと語つて居るのに徴しても同炭礦の寄附の出來得ない事が判る、また設計に就いて論難もして居るが專問の技術官が日數を要して完成したものであるから之れは信ずる方が當然である縣の計畫說明を見たならば首肯出來ると思はれる。

名濱商港修築
計畫說明

小名濱港ハ横濱鹽釜ノ中間ニ位スル良港ニシテ夙ニ漁港修築工事ヲ完成セシ以來漁船ノ出入ハ勿論沿海航行ノ汽船モ亦本港ニ入港シテ風浪ヲ避ケ或ハ貨物ヲ吞吐スルモ、尠カラス然モ後方地域ニ　所謂常磐炭田ノ無盡藏ノ鑛區ヲ包有シ背後ハ廣大ナル山林地帶ニ連接シ沃野迪亘セル石城平野ヲ擁スルヲ以テ本港ヲ利用シ貨物ノ移出スルモノ增加セリ今貨物移動ノ狀態ヲ調査スルニ常磐炭礦ノ年出炭量ハ約三百萬噸ヲ算シ其重要消費地ハ東京横濱地方ニシテ現ニ東京附近各驛ニ到着セル常磐炭ハ大正十二年統計ニ依レハ無慮六十四萬噸ニ達ス其他林產農產物、海產物、肥料、セメント、鐵、銅、鋼等小名濱港推定勢力圏內各鐵道驛ニ發着スル總數ハ三百三十七萬八千噸餘ニ達スルヲ以テ本港ニ商港トシテ設備ヲ爲ストキハ大體七十萬噸ノ物質カ小名濱港ニ轉屬シ低廉ナル石炭ヲ京濱地方ニ供給スルヲ得港勢益々進展スヘシ

茲ニ於テ修築計畫ヲ樹ツルニ總工費參百八拾八萬圓ヲ要ス

然ルニ本港ハ本年十一月四日第二種重要港灣ニ指定セラレ修築費參百八拾八萬圓ノ內ヨリ埋立地ニ對スル工費參拾貳萬圓ヲ除キタル殘額參百五拾六萬圓ニ對シ其ノ二分ノ一ニ相當スル金百七拾八萬圓ハ國庫ヨリ補助セラル、コトニ內定シ且又淺野總一郎ヨリ金壹百萬圓地元小名濱町ヨリ金五百萬圓修築費寄附申出アルヲ以テ縣縣ハ是等ヲ財源トセハ僅カ壹百五萬圓ノ負擔ニテ本修築工事ヲ完成スルコトヲ得ルカ故ニ六ケ年繼續事業トシテ昭和三年度ヨリ施行スルコトニ決セリ

痛しカユしの立場の民政派

此問題に就き民政黨は縣會に多數を擁して居るので何とかして自黨の功勞にしたいとの考へから正面反對が出來ないで設計の杜撰を楯に一年延期等の擧に出でんとして居るらしい、然るに伊東知事は此問題に對し態度頗る强硬で若し民政黨が反對して否決するが如き場合は原案執行をするらしいので斯くては民政派の反對は地元に反感を買ふのみで何等の價值がないので痛し痒しの態度であり若し正面反對するとすれば國家問題を政爭の具に供し地方民の利益と國家の福利を無視するものと云はねばならぬ。

商港實現こ直接の利益

鈴木周次郎氏は縣の計劃三千噸級の商船を入るゝに對して三千噸　餘りに貧弱である縣は何故に一萬噸級位の大規模にせないかと唱へたが、三千噸の炭を搬出する事は一炭礦會社としても莫大なのであるからより以上は殆んど認められず內務省が三千噸級を商港の標準に置くは至當の事と思はれる、此商港より受くる利益は『歐洲から横濱までの船賃を横濱から東京までの汽車賃は同格である』との實例に見ても北海道方面より來る肥料其他、米國方面より來る材木等の價格に大革命を來すは火を見るよりも明らかで本縣下の主要輸品である鹽引なとも從來より如何に低廉なるものを用ひらるゝかは考ふるまでもあるまい

兩派議員の視察

縣會の問題となつて居るので三日午後二時五十分福島發の列車で政友派よりは

鈴木辰三郎　山崎吉十
古川傳一　太田秋之助
石田俊夫　奥山岡藏
鈴木啓夫　宗田利助

の各氏

民政黨よりは港芳藏氏外十名が小名濱の實視察の爲めに出發し、政友派は平町丸新旅館に一泊し、四日自動車を飛ばし民政派は湯本に泊り同地より小名濱に向つた。

營業停止せられたる
浪江銀行の內容

大藏省より銀行條例違反として去る十一月廿八日附き新規取引停止を命ぜられたる株式會社浪江銀行は福島縣浪江町に所在して明治四十一年二月の創立に係り資本金廿萬圓拂込金十三萬圓積立金一萬五千圓內外有價證券九千圓內外、所有物勘定三萬二千圓內外を算し昭和二年十月末現在の預金及貸付は左記の如き狀態であるが、近年業績不振の爲め地方に於ける信用を失墜し預金者少く種々整理中に屬するものであつて某々銀行に合同若しくは賣却すべく運動中であつたけれども何れも不調に終りたる經緯を有し、從つて爾來休業狀態に存在中のものである。

▲預金單位千圓

當座預金	一六
特別當座及貯蓄	三八
定期預金	一五
諸預金	六
合計	七五
外に借入金	二四八

▼貸出金

證書貸付	三一三
手形貸付	五五
當座貸越	二九
割引手形	七
荷付爲替手形	一
合計	四五

尚現在重役は左記の諸氏である

頭取佐藤慶助　取締役上田善治郎　同馬場房時　猪狩安志　星智矩　末永半兵衛　監査役鈴木大久　金澤德治郎

公共事業
好間消防組

石城郡好間村小學校の庭園は甚だ底くして少しの降雨にも生徒わ足を沒するの有樣にて困難致しつゝ有りしが昭利元年四月叶多組頭は幹部會を召集し消防組の公共事業として校庭に土盛り致す事に議案を協議一決し地主と土取り件交涉中の處早速許可を受けたるに付昭和貳年九月より此れが實施に取掛り組員に總動員を行ひ目下事業中ばにして農繁期に入り進行せざるも秋終相待つて事業の完成を見るべく生徒の喜びは勿論村民一同は消防組の働きに感謝の意を表して居る。

名湯　土湯溫泉
十ヶ年振りに見たる

市島生

◆土湯溫泉　福島市の西北四里信夫郡土湯村にあり海拔一千五百尺至三千尺の高所にして野地溫泉最も高く、川上溫泉之れに亞ぎ湯元及新瀧溫泉順次す湯元より荒川を隔て新瀧湯溫泉あり、對岸を西行八丁、山脊にあるを川上溫泉とす舊會津街道陣場の古蹟を經て鬼面山麓にあるを野地溫泉と云ふ

◆交通　福島市より通ず同驛前より自動車、車馬の便あり、本線金谷川驛よりは里程最も近し自動車に乘づれば僅か三十分にて着す松川驛よりも　樣とす。

◆重なる旅館　木村屋　津田屋　富士屋　中村屋　井桝屋〔何れも內湯あり〕新瀧湯溫泉は字杉の下にあり、湯元と對し前に荒川の清流あり脊に熊野山の青巒を脊負ひ、閑雅純撲太古の風あり、旅館、向瀧旅館、大和屋、岩城屋やまとや等あり。

◆冬は十一月　中頃から降雪多く〔スキー〕の好適地として喧傳せられ都會からの來客少なからず、又た鳥獸の狩獵地として無比の樂園と稱され一日の勞を湯槽に浴して眺むる四圍の雪景は又格別のものである

◆旅館料　は普通壹圓五十錢　中等二圓　上等三圓自炊は三食一日八十錢より二圓迄である。

◆名物と御土產　不動羊羹、木地細工、地猪鑵詰飯杓子汁シャモジ、ツツビ濱湯の花は特に適當ならん

回醫治効能　は各湯によりてことなるも胃腸病外傷、中風、レウマチス前產後、血方、梅氣、鑛物中毒呼吸器病、婦人諸病恢期等に最も特効あり

赤井畑木工場
場主　赤井畑滿氏

東北本線藤田驛前に材木工場を置き木材類諸々箱類の諸請負業を營みつゝある赤井畑滿氏は資性豁達にして敏捷一面には擊劍の達人として聞ゆる宮城縣刈田郡小原の士族で龍之助氏の長男である

信夫土湯
ふじ屋旅館

信夫郡土屋溫泉地に佐久間修三氏經營のふじや旅館は位置形勝を占め四邊の眺望絕佳にして特に衞生に注意し萬事清潔を旨とし今回は客間の增築を落成なし以て浴客の氣色一層清新ならしむるものあり。

信夫土湯
津田屋旅館

信夫郡土湯溫泉に津田屋旅館は阿部與作君の經營で氏は日露戰爭に從軍なせし勇士にして非常に奮鬪家にして土湯の交通の便ならしむ爲め數臺の自動車を買入れ浴客の送り返ひに片道の料金で最も親切に客を取扱ふので評判頗ぶる好し。

社告
橋本正春

右の者今回退社致させ候に付き自今本社と何等關係無之右社告候也

昭和二年十二月二日

平新聞社
平町仲町三

新選都々逸

わたしや慈口つい打込んで
穴のあくのも氣がつかぬ

誠明した貸しさへなけりや
客氣はお前に借り次第

思ひ切りよで淚も出ない
出ない淚が尚つらい

知つてゐるのか燕がのぞく
人目忍んだ蛇の目傘

豆こゝしけ

△白帶に惱まされる婦人は大した數です、從來は白帶どめの方法として消毒劑や收劍劑が用ゐられてゐましたが近頃醫博秋葉隆氏は豆科の植物から一つの成分を抽出しこれに乳酸鹽を加へてワギノールといふ合劑を創らました昔から豆の煮汁が白帶に利くとは、よくいはれてゐることです

△一體豆類のふくむサポニンといふ物質は水にとけて泡沫を作る性質がありますから局部をよく洗滌する力に富んで居るから白帶に至極いゝことになります。

社告

當社創立日尚淺きにもかゝはらず各位の多大の御後援と御指導に依り御好評を博し居り候も編輯監督者市島彌三氏が乘務なりし編輯其他社內の不統一を來し此れが爲止むなく半ケ月間休刊をなし大改革を斷行し優秀なる記者を招ぎ紙面を倍加し不取敢每月五回發行に改め來春より某有力者の入社と同時に當社の組織を改め且つ名稱變更の豫定に付何卒倍舊の御引立の程願上候

支局新設

福島市北町六七
福島支局

今回前記へ支局を設置し主任として須藤金風氏在任致し通信事務に從事可致候間何分御願申上候

平新聞社

◈當社之短期日掛貸付◈

當會社の組織に掛る日掛貸付は唯に地方に於て其嚆矢なるのみならず未だ會て其例を見ざる新式の便法であります、融通の手續きは債務者と保證人を當會社より發行、申込書へ連署し御差出になれば至極手輕に出來ます、融通後は當會社より集金員を派遣致させます手續等に不明之點がありましたら直接當會社へ御問合せ下されば說明申上ます

△營業種目▽

■短期日掛貸付

金額割合一覽表

金額	毎日掛金額	期間	月數
金拾五圓也	金貳拾五錢掛	六十日間	二ケ月間
金參拾圓也	金五拾錢掛	六拾日間	二ケ月間
金四拾五圓也	金七拾五錢掛	六十日間	二ケ月間
金四拾五圓也	金五拾錢掛	九十日間	三ケ月間

◈月掛貸付小口也　短期貸付
◈有價證券の賣買及仲介
◈動產不動產の賣買仲介
◈貸地貸家の賃借料取扱
◈債權賣買及債務の相談

磐城殖產合同株式會社
平南町五十番地
電話三一四番

難病者への一大福音

心臟病。腎臟病。十二指腸蟲病。黃ダン
產後。血之道。小兒かんの蟲に。
不思議にヨクキク

◎家傳靈藥　青病藥（あをびようぐすり）

其他頭痛眩暈手足ダルク身體ムクミ息切れ動悸する人仕事を爲すも嫌氣を催し食進み小兒なれば白米煙藥を好むに用ゐて効め確實です前記の小兒にて御困の方は一日も早く迷わず家傳靈藥青病藥のお求めをお進め致しますタツタ一圓にて[illegible]方向轉換をなし僅か三圓にてスツカリ治る本[illegible]患の難病者に施藥し來れる靈藥[illegible]救濟の目的を以て販賣せるものなり[illegible]て効果なき御方は最後に一度此稀なる靈藥を服用せられん事を望む藥價一週間分金壹圓郵[illegible]販賣致して居ります若し[illegible]に無き時は直接本舖へ御申込下さい

福島縣石城郡神谷村
大字鎌田岸廿七番地
本舖　鈴木銀太郎

◎診察時間　午前九時カラ午後五時迄
急患此限リデアリマセン

□內　科　小兒科　院長醫學博士　新井寬治
內科部長　渡部桂太郎
□外科　皮膚泌尿科　外科部長　木村淳
□產婦人科　產婦人科部長　野秋善直
□藥　局　藥局藥局長　吉本孝平
共濟會長　病院主事　賀澤忠治
電話七二番

◈衞生試驗所（理化學的檢查黴毒血液檢查）
主任醫學博士　新井寬治
技師　渡部桂太郎

□共濟會員　診察無料
一般患者初診壹圓
□往診ハ……何時ニテモイタシマス
□入院料　共濟會員　一日金貳圓三拾錢也　賄付
一般患者　一日金貳圓八拾錢也　賄付
◈看護婦募集す

磐城共濟病院
平町
電話六四一番

強烈なる滋養と美味を以て例年御期待下さる

カキ貝御料理
相始め申候

カキフライ　一人前三十錢
カキなべ　同　五十錢
カキよせなべ　同　五十錢
スキ　同　廿五錢
品々

料理
一の井
電話一六七番

財界不況に伴ひ値下斷行
十二月二日ヨリ

カツレツ　二十錢
メンチカツ　二十錢
ハヤシビフ　二十錢
御酒一本
カレイライス　二十錢
ハヤシライス　二十錢
ポークライス　二十錢

右品出前モ同値……

西洋料理
カフェータヒラ
平町一丁目（電話六二〇番）

揃ひました。

いろいろな冬の洋服が
値段は二割乃至一割安

立襟上下　拾圓位ヨリ
背廣三組　十三圓五十錢ヨリ
オーバ　六・七圓位ヨリ

其他變つたいろいろな冬の洋服が澤山揃ひました。

あかや洋服店
平町二丁目（電二〇三）

◉診療時間◉

一、朝は早くも七時半より夜はおそくも九時までに願ひます
一、日曜日、祭日は午前中だけにして頂きます。

佐川齒科醫院
從六位　齒科醫學士　佐川沸
平町田町郵便局裏（元横內醫院跡）

金燈籠
銅像
ばん鐘

平七丁目
工藤鑄造所
工藤源吉

磐城セメント販賣所!!!は

特約代理店
磐城平町五丁目

サン
ベルト
和洋銅鐵金錢問屋

◉良品廉賣に勝る商略なし！
◉確實敏捷は久の生命なり！

諸橋久太郎商店
振替口座東京一〇九五六番
電話一一三九番

釀造元
清世界
銘酒
各炭鑛御用達

石城小名濱町
清水屋
小野晋平
電話六番

益々寒さは迫る冬の御仕度には
是非共弊店へ

一
平町二丁目
柏屋モスリン店へ
電話一六一番

スタイルの好い
洋服の御注文なら

十字屋洋服店へ

平町田町停車場前
電略（マル）電話　番